

スマート・コミュニティを推進する東芝とランディス&ギア社

スイスのツーク市に本拠を置くランディス&ギア社は、2011年5月に東芝に買収された。買収額は23億米ドル。同社はエネルギー関係のメーターや通信機器および計器類からデータを収集整理するソフトウェアなどをデザインから製造販売まで行う会社で、業界有数の企業である。1896年に創業以来、同社の計器類は3億個全世界で販売設置された。2011年の売上高は15億98百万米ドル、前年比4%増であった。従業員は30カ国に5,210人雇用している。

スマート・メーター分野の世界的リーダー 企業

同社の主要製品は、スマート電力計で、エネルギー消費を計ることに加えて、電力計と電力供給者間の双方向通信機能を備えたものである。同社は確立された通信技術を使って、強力なソフトウェア・プラットフォームを組み合わせて、端末から端末へのソリューションを提供し、総合的なデータ・マネージメントを電気のみならず、ガスや水、熱エネルギー利用においても提供している。同社のトーマス・ゼンダー副社長（広報担当）は、「我々の技術と製品は、お客様にプロセスの効率を高め、お客様へのエネルギー供給を一層安定したものにします。」また、「スマート・メーターは、スマート・グリッドに不可欠のものです。独立した再生可能な発電の増加によって、特に太陽エネルギーと風力ですが、事業者はグリッドに供給されたエネルギーに対する直接的なコントロールが困難になっています。スマート・メーターから集めたデータは、事業者のネットワーク上で需給関係のバランスをとるため、事業者に透明性を持って提供されます。また、エネルギーが値上がりした時に供給不足や値上がりのピークを消費者に知らせたりする基礎的なデータになります。またこのデータは、電力喪失を予測したり予防したりする早期警報メカニズムに活用されます。」以下はゼンダー副社長とのインタビュー談。

新しいビジネス市場へのゲートウェイ

ランディス&ギア社の買収は、東芝のスマート・コミュニティ・ビジネスにとっての一つのゲートウェイとして理解されています。我々の顧客の間では、東芝の名前はあまり知られていません。ランディス&ギア社が長年培ってきた主要な事業者とのビジネス関係は、東芝が世界市場で新しい市場に参入する手助けとなるでしょう。逆にランディス&ギア社は、日本のメーター市場で東芝の協力による販売の拡大を期待しています。同社はまた同社のスマート・メーター・ソリューションと東芝のインフラストラクチャー・ビジネスや家庭用電器製品をリンクさせることによって、エネルギーの効率的且つ持続的な生産と消費が可能なスマート・コミュニティの建設に貢献します。

ランディス&ギア社は、東芝グループ内で一つの事業グループとして運営されます。東芝グループの一員になることで、ランディス&ギア社は、新しい技術や新しい市場、また世界の大手100社の一つに数えられる東芝の総合力にアクセスできます。ほとんどの従業員は買収による変化はありません。技術面ではスマート・グリッド・ソリューションに焦点を置いた東芝とのジョイント・プロジェクトが既に始まっています。(了)